

第 5 5 5 回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 明石海峡大橋 維持管理

..... 神戸市垂水区～淡路市松帆

明石海峡大橋は、自動車専用道路として平成10年4月に供用開始され、神戸市垂水区舞子と淡路島の淡路市松帆の間に位置する全長3,911mの吊橋です。橋梁形式は3径間2ヒンジ補剛トラス吊橋で、吊橋の規模を示す中央支間長は世界一の1,991mを誇り、さらに主塔の高さは海面上約300mになり東京タワー（333m）とほぼ同じ高さとなっています。瀬戸内の海は潮流が激しく水深が深いため、架橋にあたっては当時の橋梁技術の粋が集められ建設されました。明石海峡大橋も供用開始から10年以上経ち、瀬戸内の厳しい諸状況のなか計画的な維持管理が進められており、それらのマネジメントや課題等について視察を行います。



2 淡路夢舞台整備事業（県立灘山緑地）

..... 淡路市夢舞台

もともと灘山は、多様な樹木の群生する自然豊かな里山でしたが、1963年から1994年までの31年間にわたり、関西国際空港など大阪ベイエリアの埋め立てに利用する土砂の採取地として切り崩され、日本の経済成長の一翼を担っていました。しかし近年では、自然環境の保全・創造への重要性が地球規模で取り込まれており、灘山においても失われた自然を取り戻し、多様な交流施設を備えた森の中の国際交流拠点として整備されることとなりました。



灘山はもともと土砂採取を目的とされていたため、岩盤が露出しており、植物の生育に必要な土壌がない状態のうえ斜面地であるため、土壌を入れるだけでは滑落してしまう状況でした。そこで、岩盤斜面地緑化という特殊な工法と灌水システムを採用し整備を進めました。2000年には「ジャパンフローラ2000」の会場としても利用されるなど、自然の再生は着実に進んでおり、現在では木々の隙間から新しい樹木も生まれており、間伐の密度を調整し、その新しい樹木を育てていく試みを実施しています。

3 東播磨南北道路建設事業 仮称加古川中央JCT他

..... 加古川市加古川町～野口町

東播磨地域では、山陽自動車道が平成9年12月に全線開通し、産業や経済の活性化及び文化交流の促進等、内陸部の地域開発ポテンシャルが急激に高まることは必至であり、また、臨海部においても、工業地域や市街地が成熟化し、地域基盤整備が着々と進んでおります。



このような状況のもと、東播磨南北道路は、加古川市や高砂市などの東播磨臨海部と、小野市をはじめとする東播磨内陸部の連携を強化し、東播磨地域の一体化を図るために計画された地域高規格道路です。臨海部の国道2号加古川バイパスと内陸部の山陽自動車道の、二つの東西幹線を南北に結ぶ東播磨地域の骨格幹線道路として、交通渋滞の緩和をはじめ、安全で快適な高速サービスを提供することを目的に整備しています。現在、整備の急がれる加古川バイパス～第2ランプ間について第1期事業として整備を進めています。

4 阪神高速神戸山手線 湊川JCT改良事業

..... 神戸市長田区

現在、阪神高速31号神戸山手線は、7号北神戸線と接続する白川JCTから神戸長田出入口までの7.3kmを供用していますが、神戸都心部へアクセスする3号神戸線へは、未接続となっています。



そこで、阪神高速道路(株)では、安全で快適な道路目指し、神戸長田出入口から3号神戸線へ直結する1.8km区間を整備し、湊川ジャンクション（仮称）の工事を進めています。